

「狂言」は大きな舞台装置は一切用いず
言葉やしぐさによってすべてを表現します。
日常生活から人間の本質を切り取り
「笑い」にする狂言は
親しみやすく、誰もが楽しめる芸能です。

若手能楽師と若手講師による古典芸能への誘い

また「講談」は、高座の上で張扇を用いて
軍記物や政談といった歴史ものを語る芸能で
聴くもののイメージーションをかき立てます。
この2つの古典芸能で「沙界怪談実記」を演じ
表現の違いを楽しんでいただきたいと思います。



令和6年

10月14日(月・祝)

13:00 開場 13:30 開演

【参加費】大人 2,800円 小・中学生 1,500円

【定員】30名(予約優先)

* 狂言ワークショップ参加の方は1,000円の割引があります。

狂言ワークショップについては裏面をご覧ください。

【会場】

さかい利晶の杜
1階 茶室広間

大阪府堺市堺区宿院町西2-1-1

* 会場は畳の間です。靴下をご着用ください。

お申し込み方法は裏面をご覧ください。

Homepageでもご案内しています。



Japanese traditional performing arts
Koudan・Kyogen
×
KWAIDAN

古典芸能で紐とく【沙界怪談実記】 若手能楽師と若手講師による古典芸能への誘い

10月14日(月・祝) さかい利晶の杜 1階 茶室広間

プログラム

🎧 講談「沙界怪談実記 ～想傳鐵方堂物語(そうでんてっぽうどうものがたり)」 台本作:天羽孔明

🎤 対談 古典芸能への誘い 能楽師 小西玲央と講師 旭堂一海

🎭 芝居「沙界怪談実記 ～櫛屋町戯狸鼓腹(くしやちょうたわむれだめきのはらつづみ)」 台本作:天羽孔明

🎭 狂言「癡痢(しびり)」 主人は客人をもてなす為、召使いの太郎冠者に和泉の堺へ酒の肴を買ってくるよう命じる。急なお使いに嫌気がさした太郎冠者は、親譲りの痺れが起こって歩けないと嘘をつく。これを仮病と見抜いた主人は、伯父から振る舞いに呼ばれたが、病氣ならば連れていけないと太郎冠者をだます。ご馳走にあずかりたい太郎冠者は急に病氣が治ったと言うが…

太郎冠者 小西 玲央
主人 上吉川 徹

狂言ワークショップ

日本人の笑いのルール
「狂言」を体験しよう!

狂言の歴史や特徴を学び、狂言の実演、簡単な狂言の体験を通じて、狂言に親しんでいただけます。

日時 ◆【10月12日】10時30分～ 【10月14日】10時30分～

会場 ◆ さかい利晶の杜 1階 茶室広間(堺市堺区宿院町西2丁1-1) *会場は畳の間です。靴下をご用意ください。

講師 ◆ 能楽師大蔵流狂言方 小西 玲央氏 上吉川 徹氏

参加費 ◆ 大人 1,500円 小・中学生 700円 各回定員 20名(予約優先)

*狂言ワークショップに参加の方には、公演参加費の割引あり

幻書「沙界怪談実記」

幻書「沙界怪談実記」ってなあに?

安永7年(1778)、江戸時代に堺のさまざまな地域で起こった怪異が綴られた書物「沙界怪談実記」。現在、現物は行方不明ですが、和泉の郷土史家の出口さんが自身の郷土誌で紹介したので、奇跡的に序文を入れて50話の文章が残っています。

幻書「沙界怪談実記」を広めよう♪

幻の書物「沙界怪談実記」を広め後世に残す活動として、2021年から12月に開口神社で妖怪をテーマにしたイベント「沙界妖怪芸術祭」が開催されています。毎年10話ずつ現代語訳し、プロのイラストレーターがイラストをつけ、現地取材パネルを作成し、展示会を行なっています。今年は12月4日～展示会、12月7・8日が芸術祭です。ぜひ遊びに来てくださいね。

演者・講師プロフィール



狂言方 小西 玲央

平成3年生まれ、能楽師大蔵流狂言方。
京都外国語大学国際教養学科卒業。
二世 善竹彌五郎門下。
公益社団法人能楽協会正会員。



講師 旭堂 一海

平成11年鳥取県鳥取市生まれ。
平成29年奈良大学文学部史学科に入学。
令和元年9月奈良大学中退後、旭堂南海に入門。
なみはや講談協会所属。

お申し込み・お問合せ

観覧・ワークショップのお申し込みはホームページでご案内している申し込みフォームからお申し込みください。

メールでのお申し込みも受け付けています。お問合せはメールまたは電話で受け付けています。

Homepage 🏠 sakai-kitan.com

mail ✉ info@sakai-kitan.com

tel ☎ 080-1502-2001

ホームページは
こちらから



こちらからメールが
送れます

